



### 3 教育長報告

教育長：今日は、報告事項が5点あります。

1点目は、コミュニティ・スクールの導入についてです。8月1日（木）に開催した愛知県PTA情報交換事業では、コミュニティ・スクールとPTA活動の関係について意見交換を行いました。今年度は、県のPTA役員から他地域の情報もいただける貴重な会議となりました。私が、コミュニティ・スクールについて冒頭で説明をしたところ、参加したPTA役員の反応は、本市がコミュニティ・スクールを導入していることをあまり認識していないこと、未来寄合と繋がっていたことを知らなかったことなどあり、これまでの市側の周知不足を感じたところです。従って、今後は市広報紙で特集を組むなど、制度の周知に努めていきたいと感じた会議でした。

2点目は、生成AIの校務での活用実証事業についてです。7月24日（水）及び29日（月）に教員を対象としたオンライン研修を行い、その後7月30日（火）から「Education Chat」という名前の生成AIがリリースされています。教員のみ利用しますが、これまでの利用件数としては延べ65件ほどあり、熱心な教員は自分で考えたプロンプトを例として、10例ほど登録をしています。内容としては、2学期の授業準備や目標設定のワークシートを作ること、2学期最初の学級レクリエーションのアイデアを得るなど、様々に生成AIを活用しています。ヒントを得るだけの話ではありますが、それに伴い教育活動が豊かになればと思っていますので活用を促していきたいと思っています。

3点目は、夏休み中の主な取組についてです。中学校部活動の夏の大会は、大変暑い夏でしたので、熱中症対策をしながらの大会となりました。生徒たちは非常によく頑張りまして、例えば剣道女子個人の部で東海大会へ進むなど、各自が練習の成果を発揮できる場となりました。また、長崎への平和派遣については、予定どおり8月8日（木）・9日（金）に無事に行ってきました。市民から預託された12万4,897羽の折鶴を式典で献納してきました。8月15日（木）には、岩倉市平和祈念戦没者追悼式で中学生2人が自分達で考えた平和への願いを堂々と発表していました。8月27日（火）には市役所で報告会が行われる予定です。中学生海外派遣事業については、これまで新型コロナウイルス感染症の影響によりオンラインで実施していましたが、5年振りにモンゴル渡航を再開しました。8月3日（土）に出発し、10日（土）に帰ってきましたが、現地ではホームステイ等を行いました。ゲルでの宿泊体験では、昨年日本に研修に来た新モンゴル小学校の教員の実家がゲルでしたので、ウランバートルから400キロメートル離れたところまで連れて行ってもらい、ゲルを実際に組み立てるところから体験させてもらうなど非常に貴重な体験をさせていただいたようです。8月26日（月）には市役所で報告会が行われる予定です。

4点目は、全国学力・学習状況調査の結果についてです。7月29日（月）に国が結果を公表しました。教科は、国語と算数・数学の2教科のみです。本市の傾向としては、毎年、同様の傾向ですが、小学校は2教科とも全国平均か、それをやや少し下回る程度、中学校は国語が全国平均をやや上回り、数学は全国平均を有意に上回る状況です。質問調査も同様の傾向で、ICT機器の活用が小学校で高く、英語の授業の内容がよく解る、まとまった内容を英語で発表する活動が多いなど、英語の授業に関する肯定的な回答が高いのが特徴であると思っています。

5点目は、1学期の各種統計についてです。6月末時点で欠席日数が30日以上の不登校児童生徒数は、小学校全体で16名、中学校全体で33名です。小学校は昨年並みで、中学校はやや下回る状況です。できるだけ減らそうと様々な手を打っていますが、今のところ横ばいの状況です。引き続き、丁寧な指導に心掛けていきたいと思っています。また、教員の在校時間について、月45時間を超えたのは、小学校全体で16名の10.5%、中学校全体で19名の22.4%、月80時間を超えたのは、小学校が0名、中学校が2名です。昨年と比べると小学校は横ばいの状況ですが、中学校は今年から部活動の時間をかなり短縮しましたので、それに伴って在校時間が減っている状況がみられます。

夏休みにいろいろな行事がありました。水辺まつりには、多くの中学生ボランティアが参加していたし、市民盆踊りにも多くの子どもたちが集まっていました。残り少ない夏休みですが、引き続き見守っていききたいと思っています。報告は以上です。

#### 4 協議事項

議案第 33 号 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価の結果並びにその公表に関することについて（学校教育課） 原案どおり承認

教育長：事前配付で目を通していただいているかと思います。何かご意見はございませんか。

押谷委員：ICT教育について、新型コロナウイルス感染症の影響で児童生徒用1人1台タブレットが導入され、現時点において文部科学省や岩倉市としては、どのくらいタブレットを活用してほしいのですか。以前、学校間で使用方法や頻度に差があるという話もありましたが、どの程度使用していますか。報告書に記載がないため分かりません。

事務局：小学校では毎日のように授業で活用をしています。ICT支援員が、1週間に1回は学校を訪問し、授業でのアプリ活用等について教員に指導をしています。また、各学校代表の教員が集まるコンピュータ教育研究委員会では、ICT支援員も同席し、様々なタブレットの活用事例の報告をいただき、学校間で差が生じないようにしています。

押谷委員：学校間での格差はありませんか。

事務局：教員によって多少の差はありますが、ICT支援員を活用しながら差をなくすようにしています。

押谷委員：活用頻度についての基準等がありますか。

事務局：特に基準まではありません。

教育長：タブレットを毎日使用すればよいというものでもなく、使い方にもよると思います。スウェーデンでは、デジタル教科書を一切使用せず紙だけになりました。タブレットは、簡単に調べられ、知識を得ることができるという利点はありますが、熟慮せず、調べて文字を写していれば、できている気になってしまう場合もあります。教科書に線を引いたり、書き写したりする学習も大事なことで、併用することが大事であると思います。

三須委員：64ページの山車に関する授業が小学校2校というのはどのように決められていますか。

教育長：小学校2校は、伝統になっています。地域に山車があるため、山車の見学が盛んですし、子ども会ではお囃子をやっています。

事務局：市が決めているのではなく、学校で身近に感じられる児童が多いというのがあります。市全体に山車を広めていく試みが必要であると思っています。

江口委員：山車は行政区の所有で、山車保存会では高齢化が進んできています。学校の授業公開で、山車に関心をもってもらい、子どもたちに次の担い手になってほしいと思います。山車保存会の存続は急務になってきているのではないかと思います。

事務局：本市の山車の存在を知らない子どもが結構います。山車を所有している行政区だけではなく、市全体に周知するべきであると考えています。

押谷委員：今はやっていないのですか。

事務局：今は山車保存会の集まり等に市職員も参加し、保存会からの要請や情報共有をしています。十分にはできていませんので、何か方策を検討していく必要があります。

大村委員：下本町は、山車を所有しお囃子隊がありますが、同じ曾野小学校区の大市場町ではそういう話は聞きません。地域連携をしていくためにも、山車保存会を各地区に招へいし、全地区の子どもたちが関わっていけたら山車も広まっていくと思います。

教育長：山車保存会も連携を深めて埋めていこうと思っていますので、変わっていくと思います。また、教育課程は学校の権限ですので、各学校が限られた時間数のなかで、何を選択するのかは、バランスの関係となります。よって、強制的ではなく、任意で広めていくことになると思います。

三須委員：全小学校でのんぼり洗い体験をしていますか。

教育長：ずっと体験しているのが岩倉北小学校で、現在では五条川小学校、岩倉南小学校、曾野小学校もやっています。何を選択するのかは、学校次第です。

押谷委員：山車に補助金はでていますか。

**事務局**：修復費に対する補助金や、巡行に対しては委託料を出しています。

**教育長**：文化財として指定されるかどうかは、地域住民がどの程度関わってかで変わってきます。

**押谷委員**：山車をいかに広めていくことが重要だと思います。

**事務局**：ハード面ではこれまで補助金で支援をしてきましたが、今後はソフト面にも注力していきたいと考えています。

**松本委員**：児童館では、中高生タイムが午後5時30分から午後6時までと短いですが、もっと中高生に利用してもらいたいのなら午後7時頃までにするとよいと思います。

**教育長**：中高生も様々な目的があると思いますが、主にこの時間は卓球をしているそうです。勉強をしたい子もいると思いますので、児童館に限らず別の居場所を開放するなど考えた方がよいです。

**事務局**：市役所や児童館以外にもアデリア総合体育文化センターの2階の空きスペースも開館時間の間は机椅子を設置して開放をしています。

**大村委員**：勉強できる施設等をまとめて周知できると、それぞれ選択できてよいと思います。

**教育長**：様々なご意見をいただきありがとうございます。

第33号議案「教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価の結果並びにその公表に関することについて」は、承認してよろしいでしょうか。

**全委員**：異議なし。

**教育長**：第33号議案「教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価の結果並びにその公表に関することについて」は、承認します。

**議案第34号 岩倉市教育委員会後援名義の使用許可について（生涯学習課）** **原案どおり承認**

**申請者** コミュニティカフェかがよい 岸 辰夫

**事業名** かがよい特別講座 宮沢賢治の地平を歩く

**目的** 宮沢賢治の新しい面を知ることにより豊かな人生を送る

**実施日時** 令和6年9月21日（土）・10月5日（土）・10月26日（土）

いずれも午後2時から3時30分

**開催場所** おさや糸店ビル2階

**教育長**：何かご意見やご質問はありませんか。

**全委員**：（意見・質問なし）

**教育長**：第34号議案「岩倉市教育委員会後援名義の使用許可について」は、承認してよろしいでしょうか。

**全委員**：異議なし。

**教育長**：第34号議案「岩倉市教育委員会後援名義の使用許可について」は、承認します。

## 5 報告事項

（学校教育課）

### ・9月議会の補正予算について

学校給食関係では、給食センター施設管理費の修繕料で209万2千円を計上する。調理器具等の故障が多発して緊急に修繕をしたため、修繕料に不足が見込まれるとともに、生ごみ処理機の処理能力の低下に伴う機能回復や施設内にある上げ下げ窓の部品の取替えのために修繕費を増額する。

債務負担行為は、教育指導費の医療的ケア児支援人材派遣委託料で令和7年度分381万4千円を計上する。来年度、小学校で医療的ケア児が入学することから前もって人材確保等の準備行為を行うため計上する。

### ・教育長への表敬訪問について

東海大会へ出場する岩倉中学校3年生の女子で剣道個人戦の出場となった。結果としては、2回戦敗退となった。

- ・小中学生平和祈念派遣事業及び中学生海外派遣事業について  
特に大きなトラブルもなく無事終了した。

#### (生涯学習課)

- ・9月議会の補正予算について

歳入の雑入において、生涯学習センター指定管理料等返還金2,130万7千円を計上する。サクランド岩倉の管理費として請求されていた電気料金が、過剰であったため過去からの分を精算し返還される。

- ・山車宵祭りについて

8月3日(土)に開催された岩倉祇園宵祭りは、岩倉街道を中本町と下本町の山車が巡行し、くすのきの家でからくり実演等が行われ、参加者は約600名であった。8月24日(土)には、大上市場の天王祭宵祭りが開催されるが、町内の山車曳きとからくり実演が行われる。

#### (令和6年9月行事予定について)

- ・予定表のとおり。

#### (その他)

- ・なし

## 6 自由討議

**押谷委員**：放課後児童クラブの運営補助金の不正受給が他市町でありましたが、岩倉市は大丈夫ですか。

**教育長**：本市の場合、直営ですので運営に関する補助金はありません。

**押谷委員**：教員の働き方改革では、夏休みを短くするなどの話を聞きますがどうですか。

**教育長**：事例が出てきている程度で具体的な話までは聞いていません。

**大村委員**：青少年宿泊施設希望の家は、今年度で終了するのですか。

**教育長**：譲渡先がみつければ譲渡する予定です。

**大村委員**：譲渡先が見つからない場合は、どうなりますか。

**教育長**：取り壊しになるかもしれません。

**大村委員**：岩倉市の土地ですか。保育園や幼稚園がよく利用されると聞いています。

**教育長**：市の土地です。かつては保育園や子ども会などキャンプや宿泊でよく利用されていましたが、昨今ではかなり利用率が減りました。本市の公共施設再配置計画という全体の面積を縮小する計画のなかで、譲渡案がでてきたということです。また、土地利用について、譲渡先は福祉目的に限ることになっています。

今回は9月30日(月)、午後1時から五条川小学校で開催します。以上で令和6年8月定例教育委員会を閉会します。

会議録記載事項は、上記のとおり承認し、ここに署名いたします。

令和6年9月30日

岩倉市教育委員会教育長

岩倉市教育委員

岩倉市教育委員

作成した職員

学校教育課主幹